

第6学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和7年11月21日 5校時
6年1組 31名

1. 単元名「目指せ和菓子名人～世界で一つの和を咲かせる～」

2. 本時のねらい

和菓子作りについて探究してきたことを生かし、味や見た目にこだわりをもって和菓子作りを行う楽しさを味わうようにする。

3. 教師の願い

○四季折々の風景や風物詩を和菓子で表現してきた、日本人の感性に触れてほしい。

○作った和菓子に対して、こだわりと誇りをもつていてほしい。

4. 前時の様子

前回作った和菓子を振り返って、改善点や課題点をグループや全体で話し合った。

5. 本時の展開(37/52)

主な学習活動(予想される子どもの思い・願い・考え)	○…留意点等	評…評価
和菓子で季節や風景を表現するにはどのような工夫をすればよいだろう？		
1. 表現しようと決めた季節や風景の画像を確認する。 C: 星空を錦玉羹で表現したい。 C: 練り切りで冬の風物詩のみかんを作りたい。	○手を清潔に保ちながら作業ができるよう、手洗いや消毒を徹底する。 ○前回の改善点や課題点を意識するよう声をかける。	
2. 和菓子作り(最終調整)を行う。 C: 手につかないように包餡するのが難しいな。 C: 錦玉羹と餡子玉の大きさのバランスが大事だな。	○これから作ろうとしている姿、表情を、写真等で記録する。(探究の過程で成長を感じられるように)	
3. 完成した和菓子を鑑賞し合う。 C: こんな工夫の仕方があったんだ！ C: これはどうやって作ったのだろう？ C: たしかにこの風景のイメージと合っているな。	○その和菓子が何を表現しているかを解釈する助けとして、和菓子とイメージ元となつた写真を並べて置いておくようにする。	
4. 自分で作った和菓子を食べる。 C: 甘さが丁度いいな。 C: 見た目だけでなく、味の組み合わせもうまくいった。 C: 次はこんな味を入れてみたい。	○前回から味や見た目が改善されているか意識しながら食べるようする。	評 自分が探究したことから課題を解決しようと、こだわりをもって和菓子を作っている。 【思・判・表】(観察・ロイロノート)
5. 片付けをする		
6. 本時の活動を振り返る。	○本時の活動を振り返り、感想や考えたことを共有する。次回、どんな活動をしていくかを考える。	